

令和5年度南三陸地区協働教育研修会

11月24日(金)

「これからの地域学校協働活動について」

講師：気仙沼教育事務所 社会教育指導員 佐々木 成之



【受講者の声】※抜粋

- ・こういった研修の場が互いの連携を深めていく、よいきっかけとなっていくと感じた。
- ・勉強になった。来年度の計画を立てる時期なので、参考にさせていただきたい内容を得ることができた。
- ・学校運営協議会と地域学校協働活動は同意であるという程度の認識でしたが、全く別物だということを理解できた。公民館を積極的に活用したいと思った。
- ・他地区や他の学校でどのような取り組みをしているのか色々聞くことができる時間はとても貴重だと思った。そのため、地域懇談・情報交換の時間がもう少しあるといいと思った。それでも、第1回の地域連携担当者研修の際の情報交換についてまとめていただいていたものが参考になった。
- ・小・中・公民館と顔馴染みの方々と改めて話しができて有意義だった。
- ・情報交換の時間がもう少しほしかった。

令和5年度みやぎ教育応援団マッチング会議



※ 南三陸地区協働教育研修会後に、マッチング会議を開催した。参加者は、企業や団体の担当者と直接やり取りしながら、出前事業や活動への協力依頼など、情報収集に励んでいた。

【マッチング会議についての意見】

- ・様々な事業の方がいらっしゃっているので探究活動や学校での出前授業などに活かしやすい。
- ・話し合いの時間が少なかった。
- ・自由にあるけて良かったが、興味がなくても人がいないところに行かないと悪い感じがした。
- ・様々な職種の方に来て貰えたので、ありがたい。
- ・参加者が少なく、各種団体さんが手持ち無沙汰だったのが勿体ないと思うくらい、とても魅力的な話を伺うことができた。もっと広く参加者を募っても良いと感じた。(2)
- ・興味のあるところを自由に、というのも良いが、時間設定をして、まんべんなく回れるようにするのもありかと思う。興味があまりなくても話を聞くことにより、教育活動と結び付く場合も大いにあると思うので。
- ・気仙沼管内の企業さんが多い方がと思いましたが、オンラインや出前講座等、中央からも来ていただけるとのことので安心した。
- ・直接お聞きできて色々参考になった。
- ・それぞれのブースの持ち時間に制限があるとよいと感じた。1つのブースの説明の時間が極端に長く、その後他のブースを回ることができなかつたので。

【受講者の声】

- ・学校だけで悩まず繋げていけることが分かり有意義だった。
- ・マッチングする機会をいただいたとしても、学校側が考え無しではせっかくの機会が台無しだと感じた。学校側のアイデアが必要。
- ・学校のニーズに応じてつながっていただけるのは、大変ありがたい。
- ・多くの人にこのシステムが広まると良い。
- ・「知る」だけでも、とてもいいなと思うので、参加者が増えるといいなと思う。
- ・事前に、来る団体がわかると、話も聞きやすくなったのではないかな。
- ・今回、直接聞くことができなかつたところの話も聞いてみたいと思った。今後も利用させていただきたい。
- ・各学校等の要望などを相談でき、マッチングまでしてくれる機関や団体があれば利用しやすくなると感じた。
- ・ご協力いただけそうな団体と顔を見ながらお話しできる有意義な時間でした。総合的な学習の時間が中心となるので、研究主任や学年主任と情報を共有します。ブースの数に対して私たち側が少なくてもったいないと感じた。